

群馬県立中央中等教育学校学校評価一覧表②（平成28年度版）（様式2）

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 豊かな人間性を育成する教育活動を行っていますか。	①自ら積極的にあいさつをしていると自己評価している生徒が90%以上である。	B	A	A	職員自らの声かけ等、積極的に行ってもらっている。	挨拶や清掃活動が、学校の中だけでできるというのではなく、家庭や地域の中でも率先してできるような人間性を身に付けさせることに、より一層力を注いでほしい。	・生徒への指導として、あいさつなど基本的な生活習慣の徹底を更に進めていきたい。 ・効果的な清掃方法を再考し、生徒の意欲や行動を高めたい。 ・学校の規則作りに、場合によっては生徒自らも参加させていきたい。	
		②意欲的に清掃活動に取り組んでいると自己評価している生徒が90%以上である。	B	C	B	生徒の9割近くは意欲的に取り組んでいるとしたが、職員の評価は十分でない。			
		③自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	まず良好といえる。			
	2 国際コミュニケーション能力を育成する教育活動を行っていますか。	④英語や外国文化に興味を持っている生徒が90%以上である。	A	A	A	英字新聞を読んでものディスカッション活動等を通して現実世界の英語や海外事情に触れることにより、後期課程でも英語・外国文化に対してさらに興味関心が深まりつつある。	国際情勢に不透明さが増してきた昨今において、英語力を高め、コミュニケーション能力を向上させていく教育は大切であり、中央中等教育学校の特色としてさらに力を入れて指導してほしい。	本当の意味での国際コミュニケーション能力の育成に向けて、現実的な場面で即興的に表現出来る能力、グローバルスタンダードにかなう論理構成力、プレゼン能力等の育成に、前期・後期通して一貫した計画性を持って取り組んで行かなければならない。	
		⑤イングリッシュキャンプやスピーチコンテストなどの英語科行事や、海外修学旅行に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A	前期・後期を通じ授業の中で表現能力を向上させる活動をより多く行うことが、行事への意欲を高めることにつながるという認識を持って取り組んだ。			
	3 我が国の文化・伝統を大切にしている教育活動を行っていますか。	⑥全ての生徒が、学校行事や授業等で我が国の文化・伝統に触れる経験をしている。	A	A	A	本年度は日本文化に関連する学校行事はなかったが、各教科で単元に関連する日本及び世界の文化・伝統に関する内容を取り入れる工夫がある程度できた。	課題研究の「日本探究」の発表を参観したが、生徒の日本の文化に対する興味・関心が感じられた。学校行事にも取り入れてほしい。	・各教科の単元に関連させて日本、世界の文化・伝統に触れる工夫を継続しながら、研究・SGH推進部とも協力して、学校行事としても新たな企画を考えていきたい。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 基礎・基本の確実な理解を図る指導を徹底していますか。	⑦授業内容を理解できていると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	アクティブラーニング授業の全教科での恒常的な実施と授業アンケートによる授業改善を通じて、生徒一人一人の理解度の向上に努めた。	現状を分析し、自ら課題を発見する力が、これからの社会では最も大切だと思われる。この力を育成する上で、アクティブラーニング授業は効果的であるので、今後も全教科にわたって取り組んでいってもらいたい。	・アクティブラーニング授業実践、公開授業の継続等の現在の授業改善の取組を継続するとともに、教科、学年の枠をこえて、授業改善のために職員間で常に意見が交換できる雰囲気作り、職員研修等の工夫を行いたい。	
		⑧少人数指導に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A	生徒の学力の伸長と授業に取り組む姿勢からも、少人数指導の重要性を再認識できた。さらなる充実を努めたい。			
	5 生徒の学習意欲を喚起する指導が充実していますか。	⑨学習動機が明確な生徒が80%以上である。	C	B	B	二者面談を充実させ、内面化をはかることに重点をおいた。	職員の評価がCであるのは、現状に問題意識を持っている証拠。学習課題の量や質を考慮しながら、生徒の学習意欲をより高めてほしい。	・生徒の多様化をふまえると、学年・学級における一斉指導のみならず、二者面談・三者面談等の個人指導をいっそう充実させる必要がある。	
		⑩家庭学習の習慣が身に付いている生徒が80%以上である。	A	A	A	学習時間調査の結果をふまえ、個々の生徒に対する個人指導を充実させた。			
	6 教師は主体的に授業改善に努めていますか。	⑪すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。	⑪すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。	A	A	A	年度当初に授業改善に係る研究テーマを設定し、研究テーマに沿った全体研修を年2回以上実施した。	中央中等教育学校の問題点解決のためのテーマを設定し、今後も研修や授業公開を実施し、授業改善の努力を続けてほしい。	・学校全体の研修計画だけでなく、個別のテーマ設定や目標を個人計画としてたたり、個人の研修の記録をとったりするように工夫したい。
			⑫すべての教師が研究授業を年1回以上、授業参観を年2回以上実施している。	A	A	A	授業改善の一環として、全職員が、研究授業・授業参観を管理職による授業観察等と連携して実施した。		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 生徒が良好な人間関係を築けるよう組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑬教師との信頼関係を築けていると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	おおむね良好といえる。	少人数という利点を生かし、今後も一人一人の心に寄り添う指導を継続してほしい。	・学校生活が安定している。今後も引き続き、生徒理解に努めた指導をお願いしていきたい。	
		⑭クラスの間人間関係が良好だと感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	クラス内での大きなトラブルもなく、良好といえる。			
	8 生徒は健全で健康的な学校生活を送っていますか。	⑮自分の健康について意識している生徒が80%以上である。	A	A	A	全体的に昨年よりも高評価である。昨年のインフルエンザ禍によって、より注意喚起されたか。	社会に出て最も重要なのは、自分で健康管理がしっかりとできることである。指導する側の先生方も自らを律して生徒に範を示して、健康増進にむけての指導をお願いしたい。	・生徒保健委員会活動の活発化を図ることで全校生徒の健康意識をより高めたい。 3年生の夏休み前に部活動オリエンテーションを実施し、入部届け提出までの期間を十分に確保し、考える時間を確保するとともに、部活動継続の声掛けを継続的に行う。	
		⑯部活動や委員会活動に取り組んでいる生徒が70%以上である。	A	A	A	概ね良好である。今後もそれぞれの活動を見直し、生徒が主体となった部活動や委員会活動を行ってほしい。			
⑰いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である	A	A	A	多くの生徒にはいじめ防止精神は定着してきているが、安易な発言や態度でいじめに相当しているのが数件発生している。さらなる指導強化をしていきたい。	・携帯やスマホなどを使ったネットいじめに対処するため、生徒達自らの、携帯等の利用ルールを守らせていく。				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 各学年の特性に応じた計画的な進路指導を行っていますか。	⑲＜前期課程＞自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が70%以上である。	B/A	C/A	C/A	進路講演会を実施し、保護者とともに自分の進路を考える機会を提供した。	前期(中学生)の保護者が、学校に対してより積極的かつ丁寧なキャリア教育を望んでいるのは、中央中等教育学校らしい意識の高い保護者が存在する証拠である。PTAともさらなる連携をはかり、キャリア教育の充実に向けて色々取り組んでほしい。	・大学入試改革に関する動きが加速することが予想される。本校においては、引き続きその情報を入手・分析し、生徒に対する指導に反映させる支援を充実させたい。	
		⑳＜後期課程＞自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が80%以上である。	A	A	A	進路講演会を実施し、保護者とともに自分の進路を考える機会を提供した。			
		㉑＜後期課程のみ＞進学意思が明確な生徒が90%以上である。	A	A	A	文理選択、科目選択、志望校選択等の場面における個別指導を充実させた。			
		㉒子どもの進路希望を理解している保護者が80%以上である。	A	A	A	三者面談にあたって、適性検査等のデータを活用した。			
	10 生徒の進路選択に役立つ適切な情報を提供していますか。	㉓学校からの進路情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。	A	A	A	PTA進路学習会を実施し、本校生徒にとって必要な進路情報を発信した。	保護者が関心を持っている卒業生の進路状況や新しい大学入試等に関する情報を、PTAとも協力して発信していってもらいたい。	進路諸行事については、スクラップ・ビルドの考え方を基本として、その精選をはかりたい。	
		㉔進路講演会や進路関連行事を各学年、年2回以上開催する。	A	A	A	生徒の発達段階にあわせ、各学年のニーズに応じた行事を行った。			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 積極的な情報発信に努めていますか。	㉕Webページを月2回以上更新する。	A	A	A	特に前期行事、明石プロジェクト、入試情報などのタイムリーな更新に心がけた。	Webページは情報の発信手段として今後も大切であるので、改善の努力を続けてほしい。	・各分掌に更にWebページのタイムリーな更新について依頼、実行をお願いしていく。 ・渉外部として他の分掌との連携のもと、引き続き貢献していきたい。	
		㉖学校説明会や公開授業、授業参観をそれぞれ年1回以上実施する。	A	A	A	関係部署との連携のもと、円滑な行事の運営に努めた。			
	12 保護者や地域等との連携・協力を努めていますか。	㉗学校と家庭との連絡が緊密に行われていると感じている保護者が80%以上である。	A	A	A	文書やメール等を利用して適切な情報伝達に努めた。	地域貢献活動は、挨拶や清掃活動同様、社会に出て最も大切な人間性を磨くのに効果的な活動だと思うので、現在の学校周辺の美化活動に加えて何か新しい活動を企画してほしい。	・一斉メールの適時利用について引き続き努めていきたい。 ・PTA広報誌は保護者にとって必要な情報をより選りすぐり紙面の刷新なども検討しながら提供したい。 ・地域貢献活動については活動実態の周知が進んだと考える。引き続き努力したい。	
		㉘学校は、生徒・保護者による地域貢献活動を年1回以上行っている。	A	A	A	例年2回の実施を継続してきたが、2回目は健康増進活動にあて今回は春に1回だけとした。			
VI 生徒の安全確保を図っていますか。	13 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	㉙交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。	A	A	A	指定回数を行えた。	スクエアストリートによる交通安全教室が効果的であったことが、その後の事故件数の減少でもわかった。	計画通り行えたが、来年度は交通事故撲滅のため、交通レポートや危険箇所マップ等を作成していきたい。	
		14 施設・設備の安全管理を徹底していますか。	㉚学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A	A			点検はしっかりと行われた。問題点の改善は概ね解決されたが、多額を要するものについては未解決もある。